

2016年度跡見学園女子大学附属心理教育相談所活動報告

1. 2016年度 年間活動報告

所員の構成

平成28年度の相談所の所員構成は、相談所相談員・補助相談員（臨床系教員）9名、事務担当者3名、インテーク面接担当者7名であった。

平成28年度相談員・補助相談員と開所日

平成28年度相談所開所日と相談員・補助相談員は以下のごとくであった。

平成28年4月2日（土）から平成28年8月6日（土）および平成28年8月22日（月）から平成29年3月31日（金）までは週6日開所とした。平成28年12月27日（火）から平成29年1月9日（月）の冬季休業中は閉所とした。

また、文京分室ATOMIさくらルームにおいては、上記開所日のうち、木曜日・土曜日を閉所とした。

相談員 野島 一彦（臨床心理学科・教授）
中野 敬子（臨床心理学科・教授）
松崎くみ子（臨床心理学科・教授）
宮岡 佳子（臨床心理学科・教授）
宮崎 圭子（臨床心理学科・教授）

補助相談員 伊澤 成男（臨床心理学科・教授）
山口 豊一（臨床心理学科・教授）
阿部 洋子（臨床心理学科・准教授）
酒井 佳永（臨床心理学科・准教授）

相談所周知のための活動

本相談所のパンフレットを、他大学相談所等（113カ所）、近隣小・中・高等学校（100カ所）、近隣の保育園・幼稚園・放課後児童保育室（53ヶ所）、教育委員会・教育相談センター等（9カ所）、埼玉県内の病院・クリニック（15カ所）、保健センター・児童相談所・子育て支援センター等（16カ所）、その他民間相談室等（9ヶ所）に送付し、あわせて本学公開講座受講者、本相談所無料講習会受講者にも配布した。（下記表参照）

大学相談所、教育委員会、病院・クリニック、保健センター・児童相談所、子ども相談室・子育て支援センター等にはポスターも送付した。

また、新座駅・志木駅構内掲示板へのポスター掲示および東京新聞ショッパー（川越版）への広告掲載も行なった。

表1. パンフレット送付先 (2016年6月～9月発送)

| 分類 | 箇所 | 分類 | 箇所 |
|-------------------------|----------------|-----------------|-----|
| 近隣小・中・高等学校 | 100 | 他大学相談所等 | 113 |
| 教育委員会、教育相談センター等 | 9 | 病院・クリニック等 | 15 |
| 近隣保育園・幼稚園・放課後児童保育室 | 53 | 不登校生の親の会等、民間相談室 | 9 |
| 保健センター、児童相談所、子育て支援センター等 | 16 | 公開講座、講習会 | 2 |
| 合計 | 317カ所、計1775部配布 | | |

【28年度来談経路内訳】

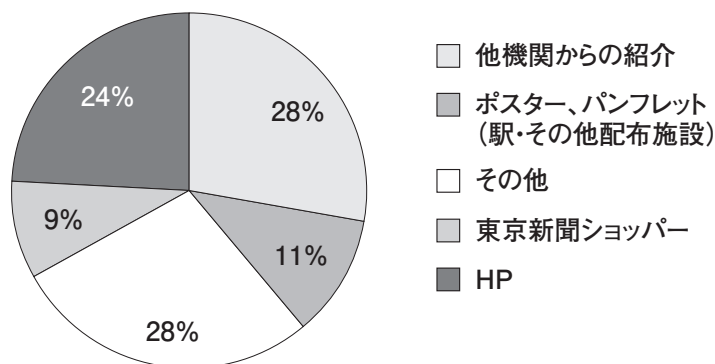


図1 28年度来談者経路

【相談所パンフレット】



跡見学園女子大学 心理教育相談所



■新座キャンパス 心理教育相談所

〒352-8501 埼玉県新座市中野1-9-6 TEL:048-478-2177

■文京分室 ATOMI さくらルーム

〒112-0002 東京都文京区小石川5-5-5 桐山ビル7階 TEL:03-3944-8151

<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/index.html>

【ご相談内容】

跡見学園女子大学 心理教育相談所では、以下のような相談をお受けしています。

学校に関する悩み

- 学校にいけない
- いじめにあってる
- 友達とうまく付き合えない
- 学業について困っているなど

家庭生活に関すること

- 非行や家庭内での暴力に困っている
- 夫婦・親子・家族関係に悩みがある
- 近所付き合いについて悩んでいる
- 生活環境に問題があるなど

職業に関すること

- 仕事がつい
- 仕事にいけない
- 職場の人間関係で困っている
- 就職・転職について悩んでいるなど

育児や障がい児の教育の悩み

- 子育てに困っている
- 障がい児のことで悩んでいる
- 障がい児にどう向き合うか困っている
- 障がい児をいかに育てるかを知りたいなど

自分自身の性格や健康

- 人と話すのが苦手だ
- 自分の性格について悩んでいる
- 自分の精神的健康に自信がないなど
- 生き方について悩んでいるなど

※このようなご相談に対して、カウンセリング、心理療法、心理テストなどを行っています。 ※ご相談内容につきましては秘密厳守いたします。
※ご相談の内容によってはお引き受けできない場合もございます。

不登校を考える親の会(新座：第1、第3金曜日の午前10時～12時、文京分室：第2、第4木曜日の午後13時～15時)

【受付から相談まで】

本相談所は完全予約制となっております。 まずはお電話にてお申し込みください。

【予約受付電話番号】 受付時間：午前9時～午後4時

新座キャンパス心理教育相談所 **048-478-2177**

文京分室 ATOMIさくらルーム **03-3944-8151**

初回の相談の予約をお取りし、ご相談の詳しい内容やこれまでの経緯、その他必要と思われることについて、臨床心理士およびカウンセラーが伺わせていただきます。

※電話での相談は受け付けておりません。また、大学の長期休暇等で受付時間を変更する場合があります。

※現在ほかの医療機関や相談機関にかかられている方は、治療担当者にご相談の上、お越しください。

・本相談所は臨床心理学専攻の大学院生の研究機関を兼ねています。
・大学院生が陪席および相談を担当させていただく場合がございます。



面接室

毎年5回程度、教員による心の問題をめぐる「講習会」(無料)を開催[詳細はホームページ]

2. 相談活動報告

2016年4月1日から2017年3月末日までの相談としては、新規相談件数55件、延べ来所件数979件、延べ来所人数1044名であった。

来談者の主訴は、子供の学校における問題、引きこもり、親子関係の問題、家族の問題など現代の世相を反映する傾向が認められた。月別来談者数および相談内容は以下のごとく。

表1. 月別来談者数

2016年4月～2017年3月末の来談者数

【新座キャンパス相談所】

| | 初回相談件数（件） | 延べ相談件数（件） | 延べ来所人数（名） |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 2016年4月 | 4 | 62 | 64 |
| 5月 | 3 | 61 | 63 |
| 6月 | 8 | 68 | 75 |
| 7月 | 5 | 76 | 83 |
| 8月 | 3 | 44 | 51 |
| 9月 | 4 | 58 | 65 |
| 10月 | 5 | 77 | 83 |
| 11月 | 5 | 68 | 75 |
| 12月 | 4 | 72 | 77 |
| 2017年1月 | 1 | 60 | 62 |
| 2月 | 5 | 71 | 79 |
| 3月 | 4 | 81 | 86 |
| 2016年度合計 | 51 | 635 | 863 |

【文京分室ATOMIさくらルーム】

| | 初回相談件数（件） | 延べ相談件数（件） | 延べ来所人数（名） |
|---------|-----------|-----------|-----------|
| 2016年4月 | 0 | 17 | 17 |
| 5月 | 0 | 13 | 13 |
| 6月 | 0 | 14 | 14 |
| 7月 | 0 | 13 | 13 |
| 8月 | 0 | 10 | 10 |
| 9月 | 1 | 10 | 10 |
| 10月 | 1 | 20 | 20 |
| 11月 | 1 | 17 | 17 |
| 12月 | 0 | 17 | 17 |

| | | | |
|----------|----|-----|-----|
| 2017年1月 | 0 | 17 | 17 |
| 2月 | 0 | 15 | 15 |
| 3月 | 1 | 18 | 18 |
| 2016年度合計 | 11 | 181 | 181 |

表 2. 来談者の相談内容

2016年4月～2017年3月の来談者の主訴

| 来談者による主訴の種類 | 件数 |
|-------------|----|
| 家族の相談 | 50 |
| 自分自身の問題・性格 | 44 |
| 抑うつ・情緒不安定 | 8 |
| 対人関係 | 16 |
| 社会不適應 | 2 |
| 不登校 | 19 |
| 不登校の親の会 | 30 |
| その他 | 10 |

3. 不登校を考える親の会報告

わが国の小・中学生の不登校は相変わらず10万人を超えている。そのような子どもに対して直接働きかけることは非常に難しく、次善の対応として親へのサポートがある。本相談所でもそれを行うべく、相談活動の一環として「不登校を考える親の会」を月に2回（新座キャンパス：第1、3金曜日の10時～12時、文京分室ATOMIさくらルーム：第2、第4木曜日の午後1時～3時）、開催している。来年度も継続して活動していく予定である。



跡見学園女子大学附属心理教育相談所

「不登校を考える親の会」のご案内

小・中学生の不登校は、相変わらず10万人を超えています。学校に行かない子どもには、ひとりひとりそれなりの事情があります。

学校に行けない、行きしぶる、教室に入れない、朝起きられない、朝になると体調が悪くなる、イライラしている、落ち込んでいる、昼夜逆転している、部屋に引きこもっている、友達とうまくいかない、こんな様子はありませんか。

このような子どもをどう理解すればいいのか、どう向き合えばいいのか、親の会で、みなさまと一緒に話し合い、考えてみませんか。

***担当スタッフ：**野島一彦（跡見学園女子大学教授 臨床心理士）
他 相談所所員

***日時・場所：**平成29年4月より平成30年3月まで
（新座キャンパス心理教育相談所、文京分室ATOMIさくらルームともに開催しています。）

新座キャンパス心理教育相談所

第1・第3金曜日 10:00～12:00（2時間）

<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/facility/>

文京分室ATOMIさくらルーム

第2・第4木曜日 13:00～15:00（2時間）

<http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/facility/index.html#bunkyo>

※継続的な参加、単発的な参加どちらでも可能です。

***定員：**10名

***参加費（相談料）：**1回500円

***申し込み方法：**希望日の前日16:00までに、
下記へお電話でお申し込みください。



申し込み・お問い合わせ

跡見学園女子大学附属心理教育相談所

（埼玉県新座市中野1-9-6）

TEL 048-478-2177（相談受付/月～土 9:00～16:00）

ホームページ <http://www.atomi.ac.jp/univ/shinri/index.html>

4. 講習会報告

多くの方々に本相談所の存在を認知して頂くための活動の一環として平成15年度より開催してきた『講習会～こころを癒す～』を、今年度も開催した。

講習会を広報するとともに本相談所の存在を知ってもらい、心の問題を抱えているにもかかわらず専門機関に相談することをためらっている人に、本相談所を訪れるきっかけを作ることを目的とした。講習会の広報については、公共機関での広報、地域広報誌・ホームページへの掲載により行った。

講習会日程と参加人数

今年度は一般対象講習会を新座キャンパスにて全4回、文京分室ATOMIさくらルームにて全4回開催した。開催日時およびテーマについては各講習会講師による講習会の概要報告の項を参照されたい。

講習会の延べ参加人数は新座キャンパス134名、文京分室ATOMIさくらルーム59名であった。受講者の性別、年齢、職業、居住域、講習会を知った媒体については、以下の受講者傾向を参照されたい。併せて受講後アンケートの結果も以下に示してある。

受講者の傾向（新座キャンパス）

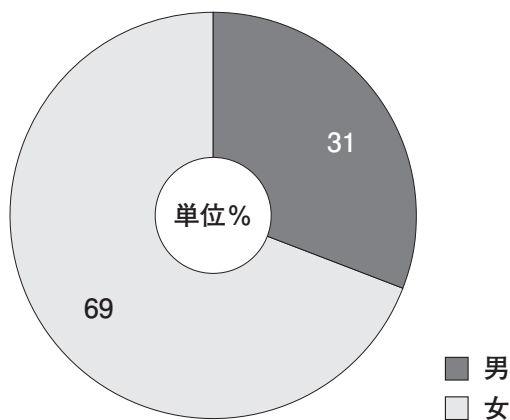


図1 講習会参加者性別構成

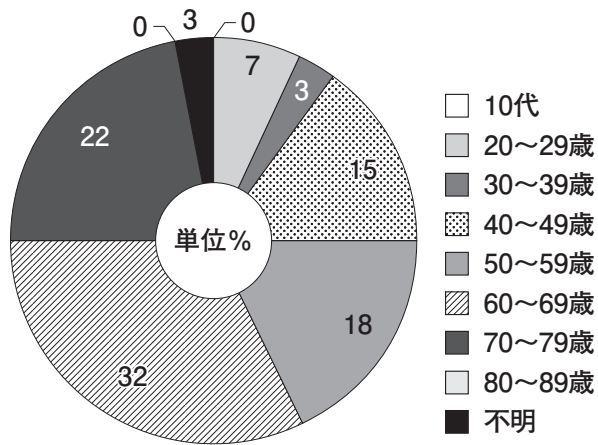


図2 講習会参加者年齢構成

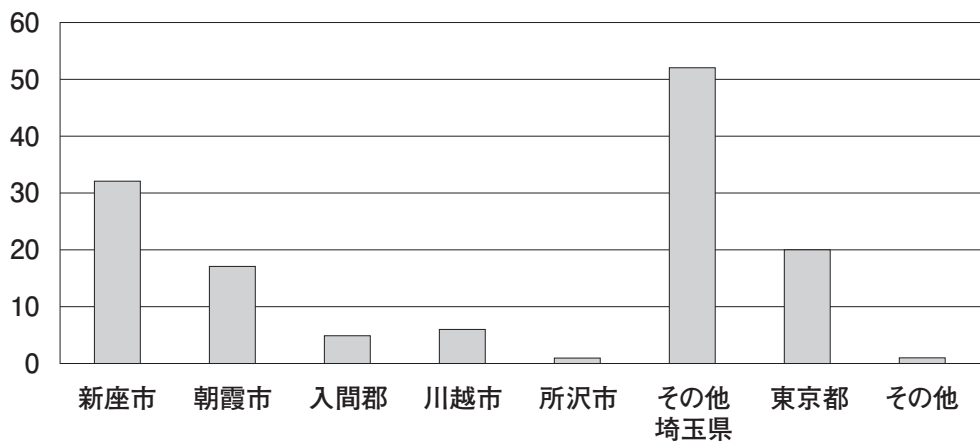


図3 講習会参加者居住地内訳

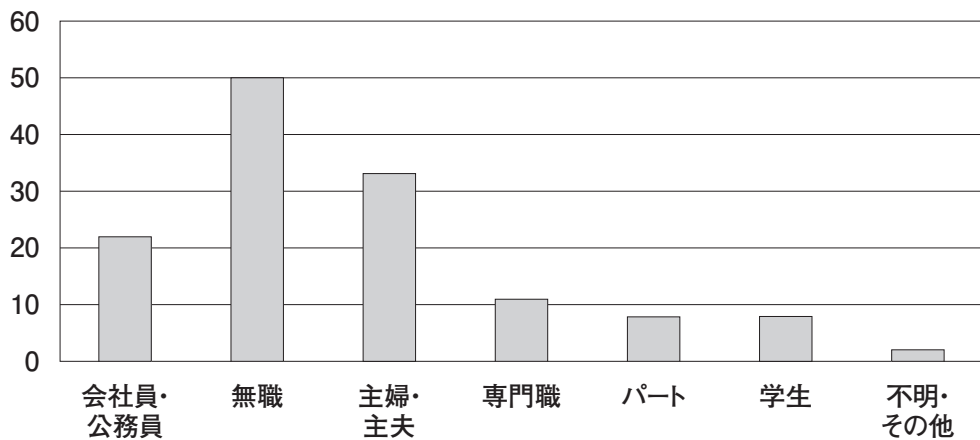


図4 講習会参加者職業内訳

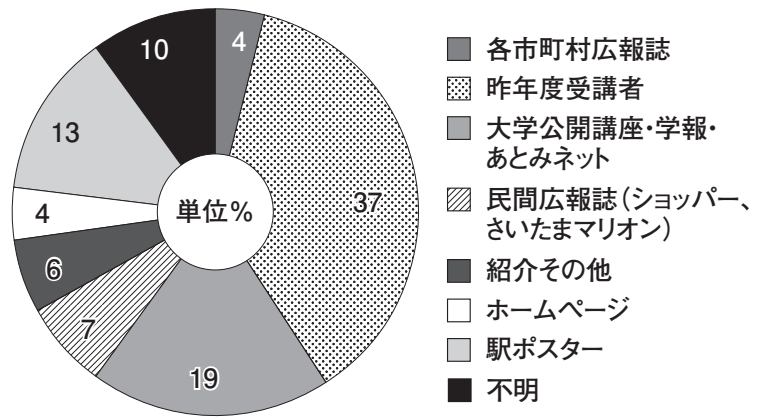


図5 講習会参加者経路内訳

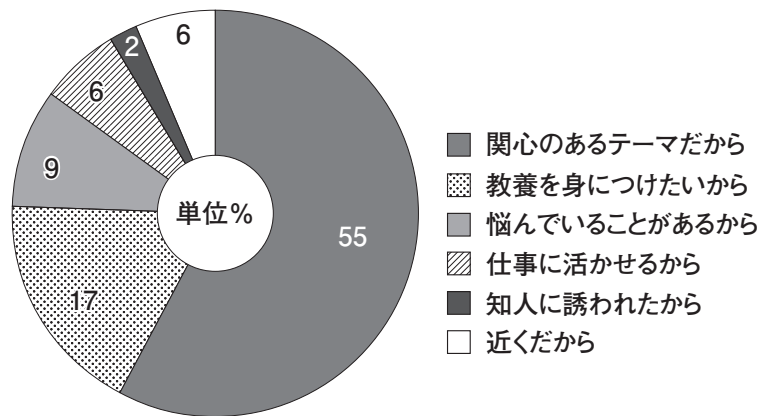


図6 受講した理由

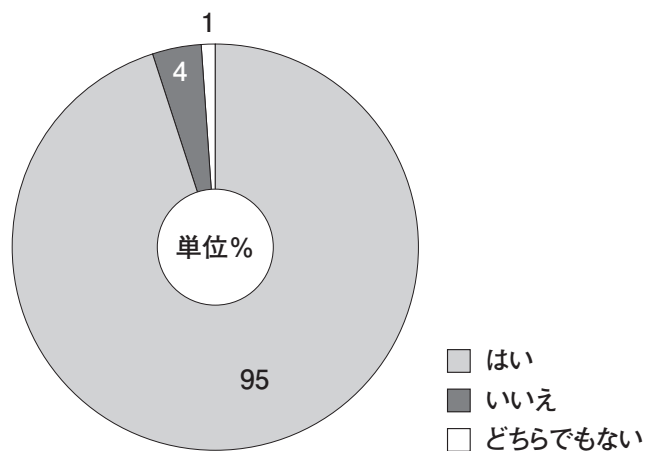


図7 講習会の内容を今後の生活に活かせると思うか

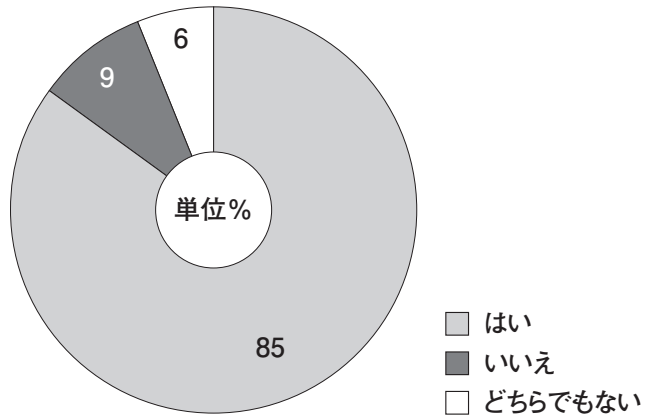


図8 自分自身の悩みや問題を解決する手助けとなったか

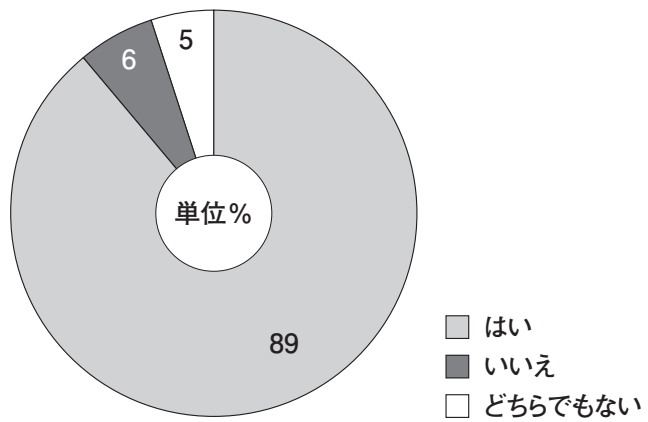


図9 受講内容は期待通りだったか

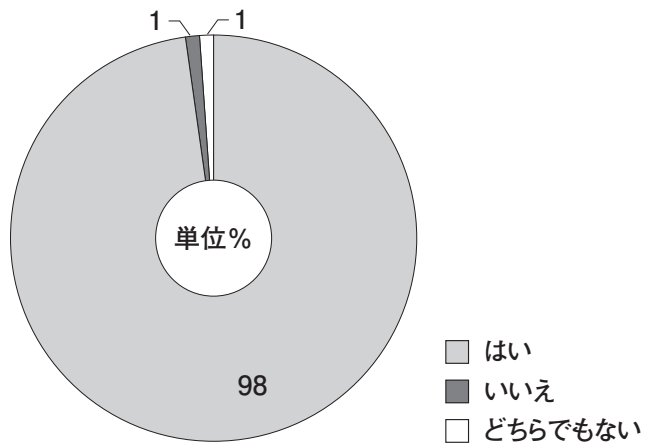


図10 講習会があったらまた参加したいか

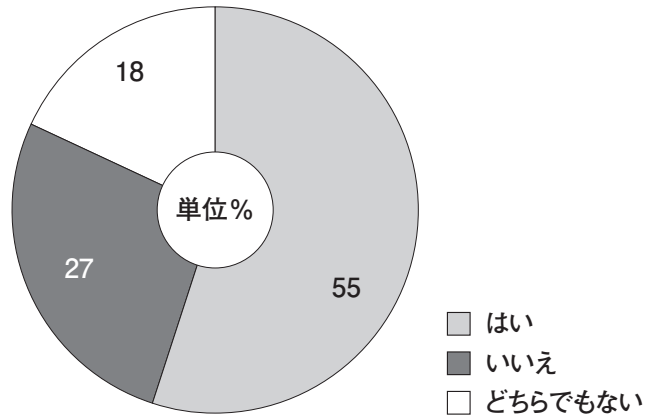


図11 機会があれば当相談所で相談してみようと思うか

受講者の傾向（文京分室さくらルーム）

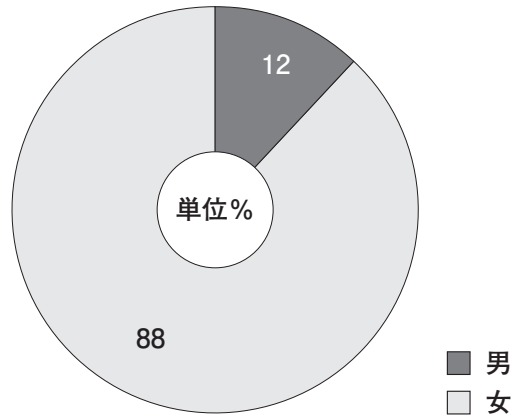


図1 講習会参加者性別構成

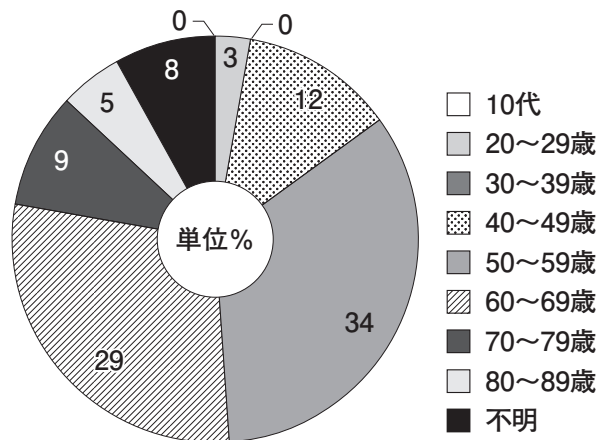


図2 講習会参加者年齢構成

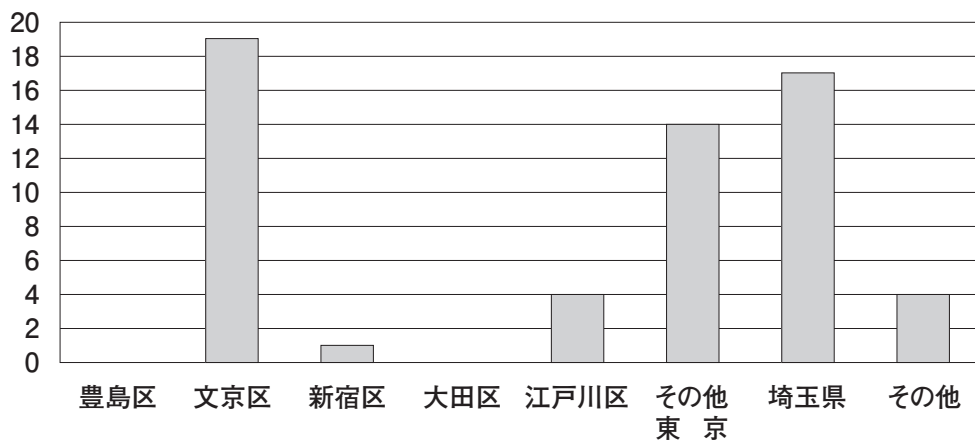


図3 講習会参加者居住地内訳

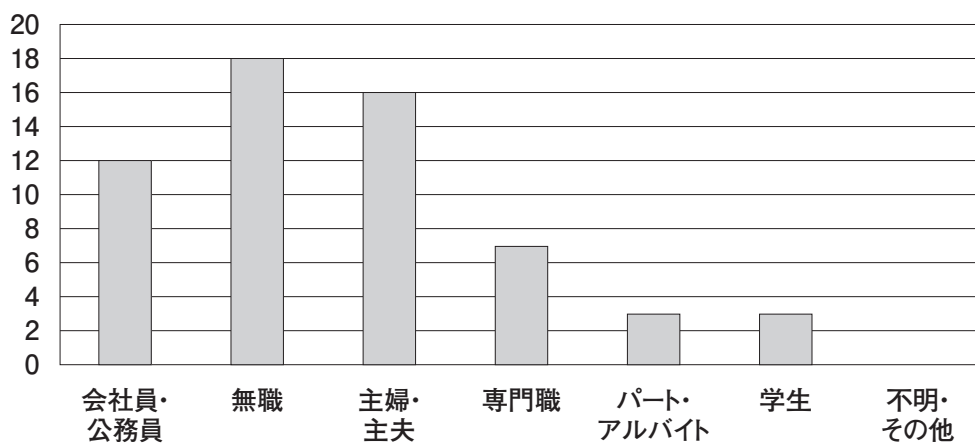


図4 講習会参加者職業内訳

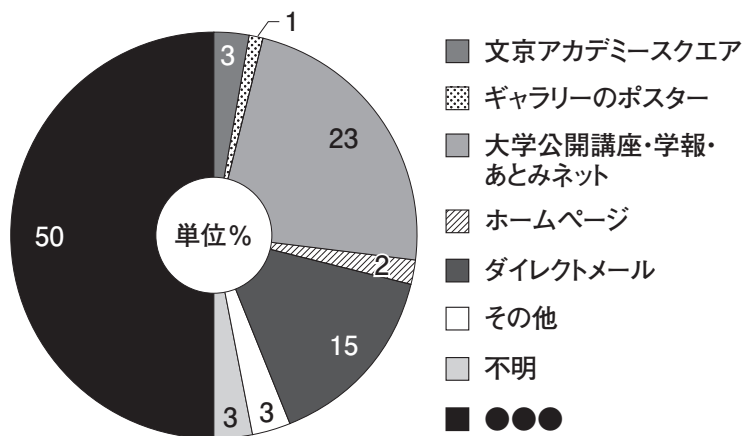


図5 講習会参加者経路内訳

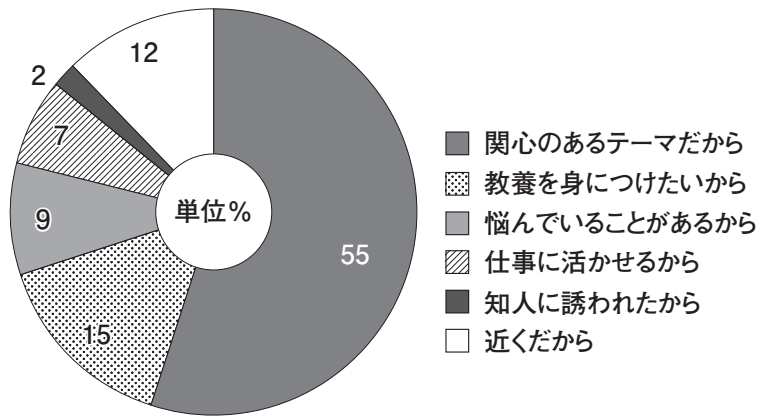


図6 受講した理由

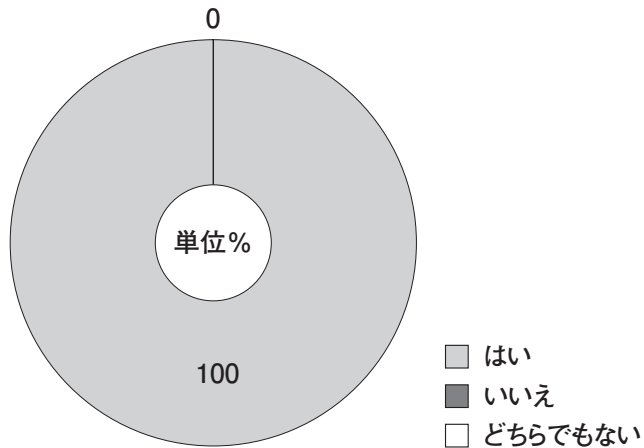


図7 講習会の内容を今後の生活に活かせると思うか

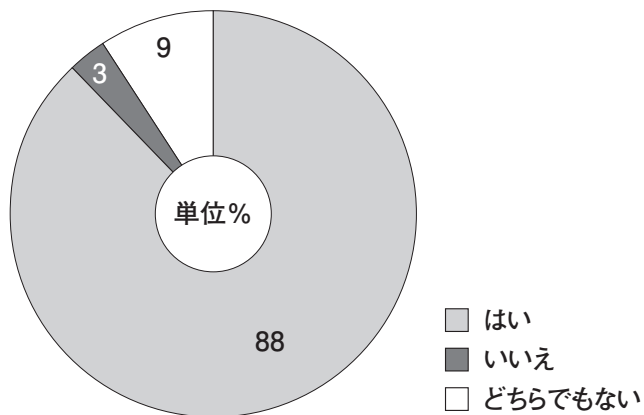


図8 自分自身の悩みや問題を解決する手助けとなったか

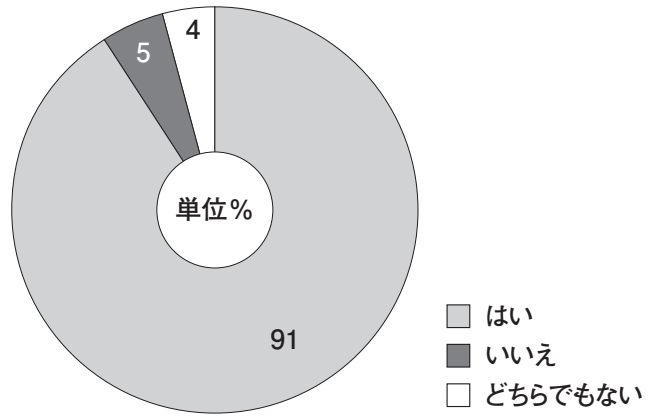


図9 受講内容は期待通りだったか

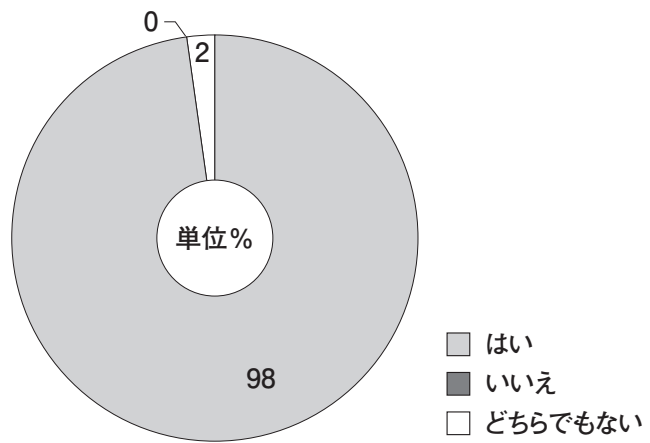


図10 講習会があったらまた参加したいか

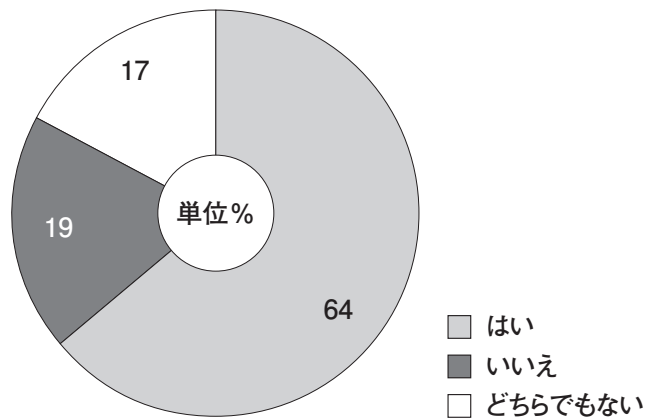


図11 機会があれば当相談所で相談してみようと思うか

5. 講習会 概要報告

<1> 7月14日(木)・2月9日(木)

「怒り」のコントロール —アンガー・マネージメント—

宮崎 圭子

参加人数が66名であった。サイコエデュケーショナル・グループアプローチの6ステップモデル (Furr, 2000) に基づいて、プログラムを以下のように作成した。Step 1 目的：怒りをマネージメントできることに近づくこと、Step 2 ゴール：怒りに対して具体的で現実的な認知スキーマを持つこと、Step 3 目標：怒りという感情はどのようなものなのかの知識を得、それについて考える、Step 4 コンテンツ：レクチャーを中心に構成、Step 5 エクササイズ：セルフ・レポート、情報提供、ディスカッション、Step 6 評価：時間イメージ (都筑, 1993) で評価。Step 5 「情報提供」において、「怒り」は進化の過程で存在意義のあるものとして生き残ってきた感情であるというレクチャー (Step 4) を実施。レクチャーのスライドでは進化を逆走した動物の怒りの静止画とsmall questionを提示し、認知スキーマ形成を行った。

講習の効果を上記時間イメージでプログラム実施前後において評定してもらった。対応のあるt検定を行い、その結果をTableに整理した。

Table 1 対応のあるt検定の分析結果

| 従属変数 | | | 効果量 |
|--------|--------------|---------------|-------|
| 現在イメージ | pre<post ** | t(51) = -3.27 | △0.36 |
| 過去イメージ | n.s. | | △0.00 |
| 未来イメージ | pre<post *** | t(52) = -3.77 | △0.36 |
| 時間イメージ | pre<post *** | t(46) = -3.92 | △0.29 |

(** ; p<.01, *** ; p<.001)

効果量としては小さいながらも、過去イメージ以外は全て講習会後の方が有意にポジティブなイメージの方へ変化したことが明らかとなった。相談所自体のアンケートによると受講理由が「関心のあるテーマだから」が57人 (87.7%) であった。多くの方が「怒り」の感情を持って余している体験を持っておられるようだ。

<2> 7月21日(木)・2月2日(木) 被害者支援とは

—犯罪被害者・災害被災者のこころを理解し、寄り添ってかかわるための基礎—

伊澤 成男

あの東日本大震災から6年近くが経過しようとしている。そして、人々の当時の意識は現在の日常生活の中では次第に薄れてきているように思える。しかし、原発の被害に遭った福島県では、依然として多くの方々が避難生活を余儀なくされ、苦しんでいる。その避難生活での無償の住宅供与も2017年3月で終わってしまうという現実がある。NHK (BS) で放映された映像は、帰還予定の町には、草木が生い茂り、道路はイノシシが我

が物顔で歩き回り、留守宅には狸やハクビシンが棲みついているという衝撃的なものであった。また、津波によって行方不明になった家族等の遺体が見つからず、残された人々が「あいまいな喪失」状態に苦しんでおられるという現実もある。火山の噴火、洪水の氾濫、熊本の地震被害など、大きな自然災害はその後も続いている。

また、重大な犯罪被害も相変わらず起こり、近年はストーカーによる事件も多発するようになった。このように、大自然の天災による被災、人間による被害などは、いつでも、どこでも起こり得る。その多くは、突然あるいは偶然で、まさに「天災は忘れた頃にやってくる」のである。被害者にとっては、それは極めて「理不尽」なものと感じられる。

私たちは、そうした出来事をどのように理解し、そしてどのように支援していけばよいのだろうか。浅薄な理解や上辺だけの言葉は、却って徒にさらなる傷を与えることにもつながる。また、自身が共感疲労に陥る危険性もある。今回の講座では、「被害」とは何か、人は被害を受けたときにどのような状態に陥ってしまうのか、そうした被災時に起こる心身の変化についてと、理解者・支援者としての基本的な姿勢について、東日本大震災特に福島県の現状と、ストーカー被害、DV被害などについて、具体的な例を挙げながら考えた。

< 3 > 7月30日(土)・2月25日(土) 不登校問題を考える

山口 豊一

平成27年度中の不登校の人数は小学校では27,581人(0.42%)、中学校では98,428人(2.83%)、計126,009人(1.26%)であり、依然高水準であり、増加傾向にある(文部科学省, 2016)。不登校とは、「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しないあるいはしたくてもできない状況にあるため、年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」とされています(文部科学省, 2016)。つまり、学校に登校しないけれど、病気ではなく、拒否しているわけではなく、学校に行きたいとは思っているけれど、行けない児童生徒を不登校と呼んでいます(東, 2011)。

不登校への対処は、不登校を発生させない「一次的援助サービス」、早期発見のための「二次的援助サービス」、発生後の対応である「三次的援助サービス」が挙げられます(石隈, 1999)。石隈(1999)によると、一次的援助サービスとは、「すべての子ども」に対しての取り組みであり、子ども一人ひとりの成長・発達することを援助するものです。二次的援助サービスとは、配慮を要する「一部の子ども」に対する、問題の早期発見などの予防的援助です。援助の際には、SOSチェックシートを活用すると良いです。三次的援助サービスとは、特別な援助ニーズを持つ「特定の子どもの」に対し、子どもの自助資源や援助資源を活用しながら問題に対処して、学校生活を送れることを目指す援助サービスです。このように三段階で子どものニーズに合わせた援助サービスを行うことが重要です。

不登校問題に取り組むには、チームで援助することが重要です。石隈・山口・田村(2005)は、チーム援助とは、「複数の援助者が共通の目的を持って、役割分担しながら

子どもの援助にあたること。」と述べています。チーム援助においては、情報量を多くし、アセスメントを基盤に方針を立て、一貫した援助サービスをすること、そして援助者、援助を受ける子どもの混乱を防ぐことが可能となります。チーム援助のタイプには、コア援助チーム（保護者、担任、コーディネーター）、拡大援助チーム（学校・学年全体）、ネットワーク型援助チーム（他機関、地域等の学校コミュニティ全体）があります。子どもの状況を把握し、信頼関係を築きながら、それぞれの援助者の持ち味（自助資源）を生かすことが求められます（石隈・山口・田村（2005））。

< 4 > 9月8日（木）・2月16日（木）

介護・看病する側、される側の心理を考える

阿部 洋子

急速な高齢化社会の到来により、介護・看病は、他人事ではなくなってきた。国は、在宅での介護・看病を推進しようとしているが、家の中でのケアは、人間も空間も限定的で、しかも1年中、毎日、関与しなければならない。それは施設や病院内で、プロ集団が、勤務時間内に介護・看病することとは異なる問題が生じる。そこで今回の講座では、介護・看病する側、される側の両者のそれぞれの心理を、病人役割、ゆるしの心理、怒りの目的などの視点を含めて、情報提供することにした。

先ず、病気に罹ったとき、在宅を希望する男性は約6割、女性は4割。介護・看病は誰にして貰いたいかについて、男性は配偶者が7割以上、女性は介護・看護スタッフが7割と男女差が見られる。この希望のズレが、介護者・看護者（以下、ケアラーと称す）の心理状態に、どのような影響を及ぼすかも考えていく必要がある。さて末期痛患者については、巡回医療などの拡充により、在宅での看病が徐々に増えてきている。しかし認知症の介護では徘徊、疑心、興奮など複数の周辺症状の出現や、先の見えない介護期間などから、終末期医療の在宅での看取りと、同列に語ることは難しい。

ところで家族でもプロでも、一生懸命なケアラーほど適切な対応が取れないと、責任感の強さと、優しさ故に、すべてを抱え込み、己の共感性の無さを嘆き、燃え尽きてしまう。

そこで認知症の姑自身が、少しずつ失われていく認知機能の下で、重症化する前に、介護してくれている嫁に向けて書いた手紙を提示し、認知症者自身が不安と共に、ケアラーに対して感謝の心を持っていること。またユマニチュードによる認知症ケアの実際をVTRで視聴して貰い、ケアラーの対応の仕方により、患者自身の反応が大きく異なることを知って貰った。

更にケアラーは、介護・看病される人に対して「病人役割」を貼り付けてしまう。これは、病人とは、回復しようと努力する義務がある。ケアラーに対して援助を求める存在であり、その援助に対して協力する義務があるという意識を持ってしまう。こうした負の意識が起きてしまうことを知るだけでも、心理的葛藤が低減することを伝えた。

そして怒らせている人・怒っている自分自身を「ゆるす」とは、事実をキャンセルする

ことでも、大目に見ることでも、相手の立場に自分を置いて理解することでもない。「ゆるす」とは、怒られたくないのなら、あるいは愛されたいのなら、こうするべきだと要求することや、期待することを取り下げることだと伝えた。

最後に「怒り」の感情は、誠心誠意ケアしているのに、殴られたり、暴言を浴びせられたりするから起きるのではない。怒りの感情は二次感情であり、その背景に一次感情である「悲しみ」があることに気づけば、穏やかな気持ちになることができることを伝えた。

6. OB・OGカンファレンス報告

臨床心理学専攻の修了生（1～10期生：123名）の＜院修了後教育＞として、心理臨床家としての資質向上のために、月に2回（火曜、土曜）、文京キャンパスで「OB・OGカンファレンス」を実施している。以下が今年度の参加状況である。

2016年度 OB・OGカンファレンス報告

跡見学園女子大学人文科学研究科臨床心理学専攻（平成27年度までの修了生＝123名）

| 回 | 日程 | OB・OG参加者数 | 教員参加者数 | 院生参加者数 | 総数 |
|----|-------------------|-----------|--------|--------|------------|
| 1 | 04月09日（土） | 3 | 3 | 2 | 8 |
| 2 | 04月12日（火） | 6 | 1 | 7 | 14 |
| 3 | 05月14日（土） | 4 | 2 | 5 | 11 |
| 4 | 05月17日（火） | 5 | 1 | 7 | 13 |
| 5 | 06月21日（火） | 5 | 1 | 3 | 9 + (1) |
| 6 | 07月02日（土） | 3 | 2 | 8 | 13 + (4) |
| 7 | 07月30日（土） | 6 | 1 | 7 | 14 + (2) |
| 8 | 09月27日（火） | 7 | 1 | 7 | 15 + (1) |
| 9 | 10月01日（土） | 2 | 1 | 3 | 6 + (2) |
| 10 | 10月25日（火） | 6 | 1 | 3 | 10 + (1) |
| 11 | 12月10日（土） | 3 | 2 | 6 | 11 + (2) |
| 12 | 12月20日（火） | 2 | 2 | 9 | 13 + (1) |
| 13 | 01月21日（土） | 3 | 2 | 3 | 8 + (2) |
| 14 | 01月24日（火） | 5 | 1 | 1 | 7 |
| 15 | 02月28日（火） | 7 | 1 | 4 | 12 + (1) |
| 16 | 03月25日（土） | 3 | 1 | 3 | 7 + (1) |
| 17 | 03月28日（火） | 5 | 1 | 3 | 9 |
| | 2016年度合計 （のべ数） | 75 | 24 | 81 | 180 + (18) |

7. 委員会報告

平成28年度の委員会開催は、以下の通りであった。

第1回 心理教育相談所委員会

日時：平成28年6月22日（水） 12：20～12：50

場所：2号館2571会議室

出席者：山口豊一、佐藤富雄、イシカワカズ、野島一彦、松寄くみ子、宮崎圭子

- 内容：1. 平成27年度心理教育相談所活動報告
2. 平成27年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告
3. 平成28年度心理教育相談所活動報告（4・5月期）
4. 平成28年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4・5月期）
5. 平成28年度心理教育相談所広報活動計画
6. 平成28年度心理教育相談所講習会日程
7. 学生向けメンタルヘルス配布について
8. ふれあいカフェについて
9. 八千代助産院おとわバースについて
10. さくらルーム移転について
11. 文京区教育センターについて
12. その他

第2回 心理教育相談所委員会

日時：平成28年10月12日（水） 10：00～10：30

場所：2号館2571会議室

出席者：山口豊一、佐藤富雄、イシカワカズ、野島一彦、松寄くみ子、宮崎圭子

- 内容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（4月～9月期）
2. 平成28年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4月～9月期）
3. 平成28年度心理教育相談所講習会実施報告
4. 平成28年度心理教育相談所紀要について
5. ATOMIさくらルーム講習会について
6. ATOMIさくらルーム移転について
7. ATOMIさくらルーム開所日程
8. 文京区との連携について
9. 心理教育相談所相談員・補助相談員の任命に関する件
10. 八千代助産院おとわバースにおけるアウトリーチ活動報告
11. 八千代助産院おとわバース開催について

12. 7.2ふれあいカフェ実施報告

13. 心理教育相談所（新座キャンパス）の屋上防水・内装補修工事について
工事期間：10/28（金）～11/13（日）

第3回 心理教育相談所委員会

日 時：平成29年2月15日（水） 10：40～11：40

場 所：2号館2571会議室

出席者：山口豊一、佐藤富雄、イシカワカズ、野島一彦、松寄くみ子、宮崎圭子

内 容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（4～1月期）

2. 平成28年度臨床心理学専攻大学院生学外実習報告（4～1月期）

3. 平成29年度心理教育相談所開所日程

4. 平成29年度心理教育相談所予算申請について

5. 心理教育相談所相談員の任命に関する件

6. 八千代助産院おとわバース開催について

7. 文京総合福祉センター祭り『子育て Q & Aコーナー』実施報告

8. ふれあいカフェ実施報告

9. 文京区教育センターとの連携について

10. 平成29年度心理教育相談所インターン合否判定

8. 担当者会議報告

平成28年度の心理教育相談所担当者会議開催は、以下の通りであった。

第1回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成28年4月6日（水） 12：20～12：55

場 所：2号館2571会議室

出席者：山口（豊）、野島、阿部、伊澤、中野、松寄、宮岡、宮崎

内 容：1. 平成27年度心理教育相談所活動報告等

2. 平成27年度大学院学外実習報告

3. 平成27年度不登校を考える親の会報告

4. 平成27年度OB・OGカンファレンス報告

5. 平成28年度心理教育相談所講習会について

6. 平成28年度心理教育相談所担当者一覧について

第2回 心理教育相談所担当者会議

日時：平成28年5月11日（水） 12：22～12：58

場所：2号館2571会議室

出席者：山口（豊）、阿部、伊澤、酒井、中野、野島、松壽、宮岡、宮崎

- 内容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（4月期）等
2. 平成28年度大学院学外実習報告（4月期）
3. 平成28年度不登校を考える親の会報告
4. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告
5. スーパービジョン研修会報告
6. 学生向けメンタルヘルスに関するチラシ配布について
7. 八千代助産院おとわバースでアウトリーチ活動について
8. 「ふれあいカフェ」について

第3回 心理教育相談所担当者会議

日時：平成28年6月8日（水） 12：22～12：44

場所：2号館2571会議室

出席者：山口（豊）、阿部、伊澤、酒井、中野、野島、松壽、宮崎

- 内容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（5月期）等
2. 平成28年度大学院学外実習報告（5月期）
3. 平成28年度不登校を考える親の会報告
4. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告
5. スーパービジョン研修会報告
6. さくらルーム移転先について
7. 文京区教育センターについて
8. その他

第4回 心理教育相談所担当者会議

日時：平成28年7月6日（水） 12：20～12：55

場所：2号館2571会議室

出席者：山口（豊）、阿部、伊澤、酒井、中野、野島、松壽、宮岡、宮崎

- 内容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（6月期）等
2. 平成28年度大学院学外実習報告（6月期）
3. 平成28年度不登校を考える親の会報告
4. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告
5. スーパービジョン研修会報告
6. 相談所における心理検査について

7. さくらルーム移転案内について
8. 文京区教育センターとの連携について
9. 7.2ふれあいカフェ実施報告
10. 心理教育相談所相談員の任期について
11. 8月・9月の相談所担当者（案）について

第5回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成28年9月2日（金）

場 所：メール会議

出席者：山口（豊）、阿部、伊澤、酒井、中野、野島、松壽、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（7・8月期）等
2. 平成28年度大学院学外実習報告（7・8月期）
 3. 平成28年度不登校を考える親の会報告
 4. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告
 5. スーパービジョン研修会報告
7～9月はお休み
 6. ATOMIさくらルーム開所日程
 7. 文京区教育センターとの連携
 8. 八千代助産院おとわバースにおけるアウトリーチ活動報告
 9. 八千代助産院おとわバース開催について
 10. 新座キャンパス相談所の雨漏りについて
 11. ATOMIさくらルーム移転について
 12. 心理教育相談所紀要第13号への投稿について
 13. ATOMIさくらルームの土曜日における入館方法について

第6回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成28年10月5日（水） 12：21～12：50

場 所：2号館2571会議室

出席者：山口（豊）、阿部、野島、松壽、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（9月期）等
2. 平成28年度大学院学外実習報告（9月期）
 3. 平成28年度不登校を考える親の会報告
 4. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告
 5. 平成28年度心理教育相談所講習会（新座）報告
 6. 心理教育相談所紀要第13号について（投稿申し込み状況）
 7. 平成28年度心理教育相談所さくらルーム講習会（案）

8. スーパービジョン研修会報告
9. 文京区教育センターとの連携について
10. 八千代助産院おとわバース開催について
11. 心理教育相談所（新座キャンパス）の屋上防水・内装補修工事について

第7回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成28年11月9日（水） 13：01～13：16

場 所：2号館2571会議室

出席者：山口（豊）、阿部、伊澤、酒井、中野、野島、松壽、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（10月期）等
2. 平成28年度大学院学外実習報告（10月期）
 3. 平成28年度不登校を考える親の会報告
 4. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告
 5. スーパービジョン研修会報告
 6. ふれあいカフェについて
 7. 文京区教育センターとの連携について
 8. 平成28年度臨床心理士資格試験（1次）の結果について
 9. 心理教育相談所（新座キャンパス）の屋上防水工事・内装工事について

第8回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成28年12月7日（水） 12：24～12：39

場 所：2号館2571会議室

出席者：山口（豊）、阿部、酒井、中野、野島、松壽、宮崎

- 内 容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（11月期）
2. 平成28年度大学院学外実習報告（11月期）
 3. 平成28年度不登校を考える親の会報告
 4. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告
 5. スーパービジョン研修会報告
 6. 文京区教育センターとの連携について
 7. さくらルーム&リアン文京 「子育てQ&Aコーナー」について
 8. 平成29年度心理教育相談所インターン選考基本方針・実施要項(案)について

第9回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成29年1月11日（水） 12：24～12：39

場 所：2号館2571会議室

出席者：山口（豊）、阿部、伊澤、酒井、中野、野島、松壽、宮岡

- 内 容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（12月期）等
2. 平成28年度大学院学外実習報告（12期）
3. 不登校を考える親の会報告
4. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告
5. スーパービジョン研修会報告
6. ふれあいカフェ実施報告
7. 文京区教育センターとの連携について
8. 1.2月期・3月期相談所担当一覧（案）について

第10回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成29年2月7日（火） 12：20～12：42

場 所：2号館2571会議室

出席者：山口（豊）、阿部、酒井、野島、松壽、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（1月期）等
2. 平成28年度大学院学外実習報告（1月期）
3. 不登校を考える親の会報告
4. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告
5. スーパービジョン研修会報告
6. 文京区教育センターとの連携
7. おとわバース開催について
8. 平成29年度心理教育相談所開所日程（案）
9. 心理教育相談所相談員の任期について
10. 平成29年度心理教育相談所講習会について

第11回 心理教育相談所担当者会議

日 時：平成29年3月8日（水） 12：20～12：50

場 所：2号館 2571会議室

出席者：山口（豊）、野島、阿部、伊澤、酒井、中野、松壽、宮岡、宮崎

- 内 容：1. 平成28年度心理教育相談所活動報告（2月期）等
2. 平成28年度大学院学外実習報告（2期）
3. 不登校を考える親の会報告
4. 平成28年度OB・OGカンファレンス報告

5. スーパービジョン研修会報告
2.25 = 4名
6. 文京区教育センターとの連携
2.23 = 野島先生が保護者との懇談会
2.27 = 野島先生がスーパービジョン
3.7 = 山口先生がスーパービジョン
7. ひきこもり等支援者連絡会
3.7 = 野島先生、宮崎先生が出席
8. ATOMIさくらルーム講習会実施報告
9. 平成29年度心理教育相談所インターン選考結果報告
新規 = 5名、継続 = 6名 合計11名が来年度インターンとして登録
10. 平成29年度心理教育相談所インテーカー選考結果報告
新規 = 2名
11. 平成29年度インテーカー勤務日について